

木造化・木質化による掛かり増し費用相当額及び他の補助事業への申請状況 (A4・1枚)

プロジェクト名	
---------	--

※ 様式7において、「比較設計方式」により補助額を計上した場合は必ず提出してください。「全体計算方式」のみにより補助額を計上した場合は提出する必要はありません。

(単位:百万円)

	木造化・木質化による掛かり増し費用相当額 (A) = (B) - (C)	木造化・木質化に関する先導的な設計・施工技術を導入した場合(木造化・木質化を行った場合)				木造化・木質化に関する先導的な設計・施工技術を導入しない場合(木造化・木質化を行わない場合)														
		サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)以外の補助事業への申請状況(その1)		サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)以外の補助事業への申請状況(その2)		サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)以外の補助事業への申請状況(その1)		サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)以外の補助事業への申請状況(その2)												
		(補助金の名称)	(補助金の名称)	(補助金の名称)	(補助金の名称)	(補助金の名称)	(補助金の名称)	(補助金の名称)	(補助金の名称)											
総事業費 (D) = (E) + (F) + (G)	155.0	635.0	118.3		60.0		480.0	114.3		0.0										
うち 建設工事費 (E)	150.0	600.0	102.0	左記申請金額の具体の積算内容 【記載例】 ベッド数×補助単価 29床×3.5百万円=102百万円	60.0	左記申請金額の具体の積算内容 【記載例】 建設工事費の10% 600百万円×0.1=60百万円	450.0	102.0	左記申請金額の具体の積算内容 【記載例】 ベッド数×補助単価 29床×3.5百万円=102百万円	0.0	左記申請金額の具体の積算内容 【記載例】 該当無し									
うち 調査設計計画費 (F)	5.0	30.0	16.0	左記申請金額の具体の積算内容 【記載例】 施設の整備に必要な工事費の2.6% 600百万円×0.026=16百万円	0.0	左記申請金額の具体の積算内容 【記載例】 該当無し	25.0	12.0	左記申請金額の具体の積算内容 【記載例】 施設の整備に必要な工事費の2.6% 450百万円×0.026=12百万円	0.0	左記申請金額の具体の積算内容 【記載例】 該当無し									
うち その他経費 (G)	0.0	5.0	0.3	左記申請金額の具体の補助対象 【記載例】 工事準備に係る事務経費	0.0	左記申請金額の具体の補助対象 【記載例】 該当無し	5.0	0.3	左記申請金額の具体の補助対象 【記載例】 工事準備に係る事務経費	0.0	左記申請金額の具体の補助対象 【記載例】 該当無し									
備考	その他経費の内訳				その他経費の内訳															
	【記載例】 ・工事準備に係る事務経費:3百万円 ・上棟式経費:2百万円				【記載例】 ・工事準備に係る事務経費:3百万円 ・上棟式経費:2百万円															
特記事項				特記事項																
【記載例】 ・上記2つの補助事業に申請予定だが、重複して採択されることはなく、①が採択されれば②は申請を取り下げる予定。				【記載例】 ・特になし。																

<記載に当たっての留意事項>

- ※ 記載例を参考にして、着色していないセルに金額や必要事項を記載すること(記載例は削除すること)。また、着色したセルに入力されている数式や記載内容を変更しないこと。
- ※ サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)以外の補助事業申請金額については、「木造化・木質化を行う場合と非木造の場合」と「木造化・木質化を行わない場合」とで金額が同額であっても省略せず記載すること。
- ※ 備考欄には、「その他経費」の具体的な内容・金額や補足すべき事項を記載すること。
- ※ その他補助事業において、設計費の補助額が工事費等の数%に相当する額を限度額とするなどと規定されている場合であっても、建設工事費と調査設計計画費を分割して記載すること。
- ※ その他補助事業が3つ以上ある場合は記載欄を適宜追加し、補助事業別に記載すること。
- ※ 本様式の記載内容について、他の申請様式の記載内容との整合を取ること。